

研究タイトル:

## 御伽草子における本文形成の過程



氏名:	樋口 千紘 / HIGUCHI Chihiro	E-mail:	higuchihi@gifu-nct.ac.jp
職名:	講師	学位:	博士(文学)
所属学会・協会:	名古屋大学国語国文学会、中世文学会、説話文学会		
キーワード:	中世文学、御伽草子		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本古典籍の書誌調査と目録作成</li> <li>・中世文学や変体仮名(くずし字)に関する出前授業や講演</li> </ul>		

### 研究内容： 中世御伽草子にみられる説話の包摂と本文形成

御伽草子は、室町期から江戸期にかけて流行した短編物語の総称です。王朝文学を思わせる作品や、民間で語られてきた伝承を取り込んだ作品もあり、物語の特色や内容も様々です。謡曲や幸若舞曲などの芸能とも深く関わりながら物語が形成されています。また、同じ作品の中で、書写される際の増補改編によって物語の内容が異なることがあります。一つの作品でいくつかの種類を持つ本のことを諸本といい、諸本の比較を通してまた物語の特徴を捉えることができます。

#### (1) 本文の形成について

主に、諸本の比較と、本文の注釈作業を通じて、御伽草子の中でも特に諸本間で異なる内容を持つ作品の整理を行っています。諸本の異同には、その書写者による物語の解釈が含まれることがあり、一つの作品の中で、仏教色の強い本もあれば、そういった宗教的な内容を削除し、人物の心理描写に焦点を当てる本も存在しています。書写者によって本文が付け加えられるなど、物語の享受過程において、書写者によって本文が創作されています。以上のような異同をもとに、御伽草子の本文がどのように形成されるのかについて考察しています。

#### (2) 地誌との関連

物語に取り込まれる説話は、他作品からのものや芸能の詞書だけではありません。地域で語られる伝承の中にも、その内容が見られることがあります。これまで研究対象として扱ってきた『横笛草紙』は、『平家物語』にもみられる話ですが、高野山という霊場において、『平家物語』とは異なる「横笛」説話が存在しています。高野山の地誌に語られる「横笛」説話が、『横笛草紙』諸本のひとつにも見られることから、物語と地誌が関わって「横笛」説話が発展したことがわかります。この事例をもとに、古典文学における物語と地域伝承の関わりについても考察しています。

### 提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	